

初期研修医情報

- | 横浜中央病院 臨床研修プログラム2020年用プログラム(研修医2) | | | | | | | | | | | |
|---|----------------------|---------------------|----------|-------------------|-----------|---------------------------------------|-----|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1年目 | | | | | | | | | | | |
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 内科32週間(消化器内科 8週間) | | 内科32週間(呼吸器内科 8週間) | | 内科32週間(循環器内科 8週間) | | 内科32週間(腎臓内科 8週間) | | 外科12週間(脳神経外科 4週間) | 外科12週間(一般外科4週間) | 外科12週間(泌尿器科4週間) | 救急科12週間(麻酔科4週間) |
| ※ 必修科：内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療を必修分野とする。また、一般外来での研修は内科を中心に含めること。
※ 内科32週、救急12週、外科12週間、小児科、産婦人科、精神科をそれぞれ4週の研修を行い地域医療は8週間の研修を行う。 | | | | | | | | | | | |
| 2年目 | | | | | | | | | | | |
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 救急科12週間(8週間) | 地域医療8週間(地域診療域 選択4週間) | 地域医療8週間(当院総合診療科4週間) | 小児科(4週間) | 精神科(4週間) | 産婦人科(4週間) | 選択実習(基本的には当院診療科を選択。選択期間は4週間が原則、最大8週間) | | | | | |
| ※ 選択実習では、外部の診療科は原則4週間の実習とし8週間の研修が可能な場合もある。
※ 救急について、4週間は麻酔科による実習を行い、残り8週間は救急科として実習する(選択として4週間をみなと赤十字病院の救命センターの選択も可能)
※ 連携実習：産婦人科、精神科は、日本大学板橋病院、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターより選択
※ 小児科は、日本大学板橋病院、横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターより選択
※ 救急科は、みなと赤十字病院救命センター(集中治療科を含む)4週間の選択可能
※ 地域研修は別に表記した診療所等群を4週間研修する。研修先は適時選択する。 | | | | | | | | | | | |

横浜中央病院 臨床研修プログラム2020年用プログラム(研修医3)											
1年目											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科32週間(呼吸器内科 8週間)		内科32週間(循環器内科 8週間)		内科32週間(腎臓内科 8週間)		内科32週間(消化器内科 8週間)		外科12週間(一般外科4週間)	外科12週間(泌尿器科4週間)	外科12週間(脳神経外科4週間)	救急科12週間(救急科4週間)
※ 必修科 :内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療を必修分野とする。また、内科で一般外来の研修を含めること。											
※ 内科32週、救急12週、外科12週間、小児科、産婦人科、精神科をそれぞれ4週の研修を行い、地域医療は8週間の研修を行う。											
2年目											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
救急科12週間(救急科8週間)	救急科12週間(麻酔科 4週間)	地域医療8週間(当院総合診療科4週間)	地域医療8週間(地域診療所選択4週間)	精神科(4週間)	産婦人科(4週間)	小児科(4週間)	選択実習(基本的には当院診療科を選択。選択期間は4週間が原則、最大8週間)				
※ 選択実習では、外部の診療科は原則4週間の実習とし8週間の研修が可能な場合もある。											
※ 救急について、4週間は麻酔科による実習を行い、残り8週間は救急科として実習する(選択として4週間をみなと赤十字病院の救命センターの選択も可能)											
※ 連携実習 :産婦人科、精神科は、日本大学板橋病院、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターより選択											
:小児科は、日本大学板橋病院、横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターより選択											
:救急科は、みなと赤十字病院救命センター(集中治療科を含む)4週間の選択可能											
:地域研修は別に表記した診療所等群を4週間研修する。研修先は適時選択する。											
横浜中央病院 臨床研修プログラム2020年用プログラム(研修医4)											
1年目											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科32週間(循環器科 8週間)		内科32週間(腎臓内科 8週間)		内科32週間(消化器内科 8週間)		内科32週間(呼吸器内科 8週間)		救急科12週間(救急科 8週間)	救急科12週間(麻酔科4週間)	外科12週間(一般外科4週間)	
※ 必修科 :内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療を必修分野とする。また、一般外来は内科での研修に含めること。											
※ 内科32週、救急12週、外科12週間、小児科、産婦人科、精神科をそれぞれ4週の研修を行い、地域医療は8週間の研修を行う。											
2年目											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外科12週間(泌尿器科4週間)	外科12週間(脳神経外科4週間)	精神科(4週間)	産婦人科(4週間)	地域医療8週間(地域診療所選択4週間)	地域医療8週間(当院総合診療科4週間)	小児科(4週間)	選択実習(基本的には当院診療科を選択。選択期間は4週間が原則、最大8週間)				
※ 選択実習では、外部の診療科は原則4週間の実習とし8週間の研修が可能な場合もある。											
※ 救急について、4週間は麻酔科による実習を行い、残り8週間は救急科として実習する(選択として4週間をみなと赤十字病院の救命センターの選択も可能)											
※ 連携実習 :産婦人科、精神科は、日本大学板橋病院、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターより選択											
:小児科は、日本大学板橋病院、横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターより選択											
:救急科は、みなと赤十字病院救命センター(集中治療科を含む)4週間の選択可能											
:地域研修は別に表記した診療所等群を4週間研修する。研修先は適時選択する。											

● 関連協力施設

病院群：日本大学医学部付属板橋病院、横浜市立大学付属病院、横浜市立大学付属市民総合医療センター、横浜市立みなと赤十字病院

地域医療群：秋山眼科医院、川俣クリニック、かめのはしクリニック、新妻クリニック、渡辺皮膚科クリニック、石川クリニック、ザ・ブラフ メディカル&デンタルクリニック 向山小児科医院、横浜市中福祉保健センター

● 研修プログラムの特徴

- 院内の研修を中心に、地域の協力病院や大学病院と連携して行います。
- 地域医療に重点を置いています。院内総合診療科、地域実習施設（9施設）を選択して実習していただきます。とくに地域医療研修は、地元医師会と強い連携体制で地域包括ケアシステムを実践する総合診療科の研修が特徴です。また、2次救急拠点病院として、横浜市の多くの救急患者の受け入れを行い、豊富な症例を経験できます。親身できめの細かい指導でプライマリケア、専門診療科の研修を行います。
 - 内科 32 週、救急 12 週、小児科、産婦人科、精神科をそれぞれ 4 週の研修を行い、外科、地域医療は 8 週の研修を行う。
 - 一般外来研修は、内科研修中に指導医とともに行う。
 - 救急について、4 週は麻酔科による実習を行い、残り 8 週を救急科として実習する（選択として 4 週間をみなと赤十字病院の救命センターの選択も可能）
 - 連携実習：産婦人科、精神科は、日本大学板橋病院、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターより選択
 - 小児科は、日本大学板橋病院、横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターより選択

◇ 医師情報

◇ 医師数 常勤医師 52 名（初期臨床研修医 6 名）非常勤医師 42 名

◇ 専門医

総合内科専門医 5名 日本外科学会専門医3名、指導医1名 日本循環器学会専門医5名 日本消化器病学会専門医 6 名指導医 3 名 日本整形外科学会専門医2名 日本泌尿器学会専門医3名指導医2名 日本麻酔科学会専門医2名 日本腎臓学会専門医、指導医1名 日本消化器外科学会専門医2名 日本消化器内視鏡学会専門医3名指導医 2 名 日本がん治療認定医3名 日本皮膚科学会専門医1名 日本高血圧学会専門医1名指導医1名 日本心血管イン

ターベンション治療学会専門医1名指導医1名 日本糖尿病学会専門医1名指導医1名 日本口腔外科学会専門医1名 日本急性血液浄化学会指導医1名 日本眼科学会専門医1名指導医1名 日本リウマチ学会専門医1名指導医1名 日本アレルギー学会専門医2名 日本肝臓学会専門医3名 日本脳神経外科学会専門医1名 日本プライマリケア連合学会認定医1名指導医1名 日本内視鏡外科学会認定医1名 日本呼吸器内視鏡学会専門医1名 日本呼吸器学会専門医1名 日本透析医学会専門医1名

◇ 施設認定

日本内科学会認定教育関連施設、日本外科学会専門医修練施設、日本整形外科学会専門医修練施設、日本泌尿器学会関連教育施設、日本麻酔科学会研修施設、日本腎臓学会認定施設、日本循環器学会専門医研修認定施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本消化器病学会認定施設、日本透析医学会教育関連施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本皮膚科学会専門医研修施設、日本糖尿病学会認定施設、日本アレルギー学会認定施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本急性血液浄化学会認定指定施設、日本口腔外科学会準研修施設、日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設、日本消化器がん検診学会指導施設、日本総合健診医学会・人間ドック学会研修施設、日本脳ドック学会認定施設、日本乳がん検診制度管理中央機構マンモ検診認定施設

◇ 診療科の説明

内科・総合内科

主に一般外来の研修を、初診外来として指導医とともに学びます。後期研修医、専攻医を中心に研修医が担当し、外来診療によるプライマリケアを学びます。

循環器内科

狭心症・心筋梗塞、下肢閉塞性動脈硬化症に対しての画像診断、薬物治療そしてカテーテル治療について学びます。また、急性心不全の薬物療法や呼吸機器管理、不整脈治療、ペースメーカーの植え込みについて経験できます。

消化器・肝臓内科

急性期から慢性期、プライマリケア領域にわたる多くの消化器疾患に対応し

ており、上下部内視鏡、腹部エコー、ERCP などを使用した診断、治療を習得することができます。

腎臓内科

急性・慢性の腎臓病診断・治療を指導医とともに経験できます。豊富な症例と優しい指導者が当科の特徴です。また高血圧や糖尿病など、腎障害の原疾患管理についても腎障害予防の観点で広く修得できます。

呼吸器内科

胸部画像検査、肺機能検査、気管支鏡検査などの呼吸器疾患に必要な検査を学び、呼吸器感染症や呼吸不全、肺がんに対しての診断・治療の経験を重ねていくことができます。

外科・一般外科・乳腺外科・血管外科

外科・消化器外科指導医のもとで、地域医療における消化器一般外科・乳腺外科の手術手技、消化器癌の化学療法、栄養管理、緩和ケアの基本を学び、自ら実践することができます。血管外科では下肢静脈瘤、深部静脈血栓症などの静脈性疾患や閉塞性動脈硬化症などの末梢動脈疾患に対して血管外科治療、透析患者への内シャント手術が経験できます。

泌尿器科

地域医療における一般泌尿器科の外来診療～手術手技について学び、実践することができます。泌尿器科癌化学療法、緩和ケアについても学習できます。

整形外科

整形外科では、老若男女問わず幅広く外傷性疾患を中心に診療を行っています。また、関節、脊椎における変性疾患に対しても手術を含めた治療を経験できます。

脳神経外科

脳卒中（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞）、頭部外傷に対する急性期管理（画像診断、薬物治療、外科治療及び血管内治療）を学ぶことができます。

麻酔科

気管内挿管・腰椎穿刺などの麻酔領域の基本的手技習得を重視しています。また、エコー下神経ブロックなど、先進的麻酔への理解を深めるカリキュラムとなっています。

眼科

眼科では、一般的な眼科診察方法、眼底写真の読影法の習得から始め、頻度の多い疾患の診断・治療の組み方や、白内障手術などを学ぶことができます。

皮膚科

common diseaseから専門疾患まで幅広く経験することができます。一人の患者様を最初から最後まで自身で診察を完結する研修が可能です。

救急科

内科系は内科救急担当医とともに日勤帯の救急搬送患者を指導医・上級医とともに学びます。外科系は主に外傷救急患者を整形外科、脳外科指導医とともに学びます。みなと赤十字病院の救命センターでの研修も可能です。

放射線科

将来どんな科を専攻されるとしても、画像診断に対する知識が不可欠です。ご希望に合わせて、画像診断の勉強のお手伝いができればと思います。

総合診療科

当院の総合診療科は、病院総合診療として地域在宅医療や施設などの入院患者に対応する診療科です。多くの高齢者が多臓器にわたる疾患を有するため、診療科を横断的に診療できることが特徴で、地域包括ケアを中心にした医療を学ぶことができます。

歯科口腔外科

歯科口腔外科は、口腔外科疾患全般の治療および基礎疾患を有する患者さんに対して、安全に歯科治療を提供しており、他の診療科と連携してNSTもバックアップします。

● 研修医の当直

当直は月4回を原則とし、指導医とともに当直を行う。

● 研修責任者から一言

当院は、全国に57の病院をもつ独立行政法人地域医療機能推進機構JCHOグループの病院として、地域医療や地域包括ケアの要として超高齢社会を支える地域住民のための市中病院です。横浜市中心地で、中華街や横浜スタジアムに隣接しており、好立地に建っています。歴史ある病院として市民に長年寄り添ってきました。附属施設に健康管理センターや訪問看護ステーション、さらに附属看護学校もあり、多くの学生実習を毎年行っております。

当院は横浜市の二次救急拠点病院として年間3500台以上の救急車を受け入れており、横浜市心疾患救急指定病院、脳血管救急指定病院となっています。近年は

日本の国際化や中華街が隣接している影響で、多国籍の患者がおおく受診されます。このため通訳兼医師事務が4名常駐し、どの診療部門でも対応できる国際色強い病院です。

当院はみなと横浜の中心地で、長年地域医療や救急医療を担ってきました。今年からプログラムを刷新し、新たに研修医の環境を整備し、やる気と熱意のある研修医を求めています。私たちと一緒に働いてみませんか？